

ジェネリックを活用しましょう

増え続ける医療費を抑える切り札として期待されるジェネリック医薬品。安価なのは確かだけどホントに安全?—みなさんがいちばん心配する点ではないでしょうか。ジェネリック医薬品の安全性とのメリットをおさらいしてみましょう。

ジェネリックは安心して使える安価なお薬です

効能・効果や安全性がすでに確立している先発医薬品（新薬）の特許期間（20～25年）が切れた後に、先発医薬品と同じ有効成分、効能・効果で製造・販売される後発医薬品を「ジェネリック医薬品」といいます。先発医薬品に比べ開発費が低く抑えられることから、薬価（薬の値段）が安

く設定されています。

その安全性は、厚生労働省の厳しい試験を経て認可されていることから、確立しているといえます。先発医薬品と比べ安価なので、みなさんの窓口負担の軽減や国の医療費節減に役立ちます。

●先発医薬品に比べて安いわけ

先発医薬品と同じ有効成分を使う

有効成分の開発をする必要がない

開発費用が安くすむ

ジェネリックが
安価な理由
がわかるね



●開発期間および費用の比較

	先発医薬品	ジェネリック
開発期間	約9～17年	約3～5年
開発費用	約300億円以上	約1億円

厚生労働省の厳しい試験

品質、有効性、安全性が先発医薬品と同等であることが証明されています

規格および溶出試験

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と有効成分の含有量、不純物の程度、溶出の程度が同じレベルでなければなりません。

安定性試験

ジェネリック医薬品の安定性は先発医薬品と同じレベルでなければなりません。品質が温度や光などに影響されず、長期に保存しても変化がないかどうかを確認する試験を行います。

生物学的同等性試験

ジェネリック医薬品は、ヒトでの有効性と安全性が先発医薬品と同じレベルでなければなりません。先発医薬品と同じ早さで同じ量の有効成分が体内に吸収されるかを確認する試験を行います。

安心して使える
お薬なのね



ジェネリックを使うとどれくらい安くなるの？

たとえばAさんが処方された糖尿病の薬、2週間分の場合… (2021年4月現在の薬価)

先発医薬品を選んだときは

例

ベイスン錠
0.2mg 24.8円 / 1日3回

Aさんの負担(3割)は
310円

参考 1年間だと8,140円

ジェネリックに
してみようかしら…

ジェネリックに
変更するのが不安な場合は、
短期間試してみる
「分割調剤」もできますよ



ジェネリック医薬品を選んだときは

例

ボグリボース錠
0.2mg 10.1円 / 1日3回

Aさんの負担(3割)は
120円

参考 1年間だと3,310円